

第7回 アイテム写真コンテスト「はたらくすがた」

講 評

選考委員

わだ ことみ

絵本・構成作家

第7回アイテム写真コンテスト「はたらくすがた」にご応募ありがとうございました。昨年より更に多くの応募数で、とてもうれしく思います。

私は絵本や物語、知育のドリルを書いたり、映像の構成制作をしているので、始めにアイデアを考え、全体のストーリーを考え、文章にする、という流れの中で表現をしています。このコンテストで驚くのは、1枚の写真に働く人の思いや真摯さ、そして楽しさまでも凝縮されて表現されていることです。応募された写真を見ていると、引き込まれそうになったり、思わず笑顔になったり、写真の力は本当にすごいなあと感じます。

小学生のグランプリの杉本君の作品は、獣医さんのお父さんがうさぎの歯の手術をしている写真です。治療するお父さんの真剣なまなざしが印象的でした。きっとこの後、うさぎは元気になって、大好きな飼い主さんの所に戻ったことでしょう。

中学生のグランプリの丸山君の作品は、八百屋の仕事をしているおじいさんの写真です。「いらっしやい。新鮮な野菜だよ。」と威勢の良い声が聞こえます。カメラを持つ友裕君を見る優しい笑顔が素敵です。

高校生の大城君は市場で惣菜を売っているおばあさん。大城君のお母さんの友達だそうです。沖縄のカチャーシーを踊って「働くって楽しいのよ!」と言っているようで、一緒に踊りたくなる写真でした。

きらきら輝く可能性を持つ小中高校生のみなさんです。今回のコンテストで、働く意味や自分の将来や職業について考える機会を持てたことは素晴らしいですね。これから、たくさんの人と巡り合い、いろいろ勉強して将来の自分の「働く姿」を見つけてください。